



松山市議会議員 吉富健一の政務活動報告

よしとみマン通信

第20号

2019年12月

2020年1月

発行 吉富健一

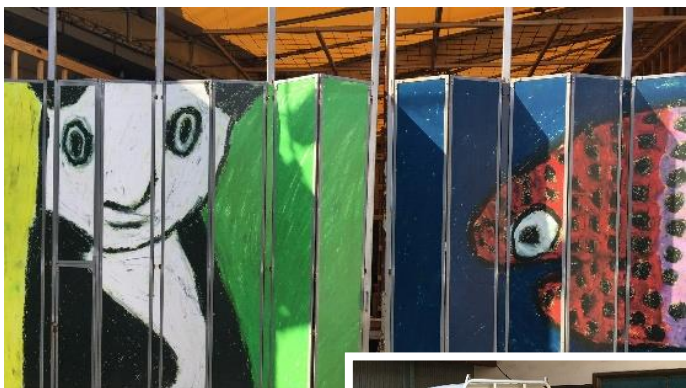
表面 「道後アート 2019・2020」のボーダーレスな展示活動「ひみつジャナイギャラリー」
中面 小さな声を大切に、活発な政策提言（令和2年度会派政策提言／松山市12月定例会一般質問）
裏面 石手川緑地「わんパーク」に小型犬用ドッグラン併設、など

「道後アート 2019・2020」のボーダーレスな展示

「ひみつジャナイギャラリー」開設

2019年11月14日(木)、「道後アート 2019・2020」を視てきました。

今回の道後アートは「参加型」のイベントとして、誰もが行き交い集う交流拠点「ひみつジャナイ基地」を作ったり、障がいのある方や高齢者の作品をホテルや商店に設置された「ひみつジャナイギャラリー」で展示したりします。特に上人坂に脚光をあてて、道後温泉本館や別館である飛鳥乃湯泉と結び、まち全体の回遊性を高めます。



よしとみは2017年3月議会で、障がい者のアートを含むアール・ブリュット(生のままの芸術)について一般質問。新しい文化芸術の振興についてと題し、次の項目で質問をしました。

- (1)アール・ブリュットの普及について
 - ① アール・ブリュットとその普及に関して、本市はどのように認識しているか。
 - ② 道後アート・オンセアートと併せて、アールブリュットの祭典を開催してはどうか。
- (2)アール・ブリュット美術館の創設について

また、2014年9月議会ではアートの拠点の創設について、2017年9月議会の一般質問では市民や団体が表現や制作活動を行う機会と場所を設けることについて、一般質問していました。

よしとみは皆が文化・芸術を楽しめる環境づくりとアートを通じたまちづくりを推進しています。



小型犬 思う存分遊んで

松山市

専用のドッグランを新設

小型犬専用ドッグランの利用状況について話を聞く吉富市議員



愛媛県松山市は、石手川緑地にあるドッグラン「わんパーク」にこのほど、小型犬用のドッグランを新設

した。公明党の吉富健一市議員が昨年3月定例会で、大型犬とのトラブルを防ぐため小型犬専用施設の開設を

要望し、推進してきた。

ドッグランは、飼い犬をリードなしで自由に遊ばせることができる専用施設だが、大型犬や小型犬が一緒に同じ施設で遊ぶため、トラブルになるケースもあった。今回整備したドッグランは、従来の施設に隣接しており、広さは約100平方メートル。周りをフェンスで囲まれており、大型犬に遠慮することなく自由に走り回ることができる。利用時間は午前9時から午後5時までで、料金は無料。

市公園緑地課の大内周二副主幹は「犬や飼い主のトラブルを防ぐために整備した。マナーを守って楽しく利用してほしい」と話していた。



(後記) 初当選した2010年から発行している「よしとみマン通信」も、ようやく20号を迎えました。稚拙な紙面にもかかわらず、「いつも届けてもらって、ありがとう」「読んでいますよ」「がんばってるね」とのお言葉をいただき、皆様の温かい励ましとご指導に支えられて、何とか作り続けることができました。本当に、ありがとうございます。

私が通信の作成で心掛けているのは、どういう「結果」をお示しできるか。どういう信条・信念で、どんな調査・研究を行い、日々どのような政務活動をしているのかといった、議員としての動きをお伝えすることも大事ですが、「結果」として何が残ったのか。例えさきやかでも、市民のために残ったもの・残ったことをご報告できるように、これからも、小さな声を大切に、現場主義で、精進していく決意です。


吉富健一
連絡先

吉富健一
HP & ブログ

よしとみマン日記

<http://www.komei.or.jp/km/matsuyama-yoshitomi-kenichi/>



ひとことメッセージ 

今回の「よしとみマン通信」は私がお届けしました。

吉富健一(本人) 協力者()

2020年のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。